

「原水爆禁止2019年世界大会」へのメッセージ

原水爆禁止世界大会実行員会の皆様におかれましては、日頃から核兵器禁止・廃絶に向け幅広く平和活動に取り組んでおられますことに、深く敬意を表します。

本年で被爆75年が経過しようとしています。いまだ世界には多くの核が存在しています。日本は世界で唯一の被爆国であることから、核の恐ろしさと被爆者の苦しみを、全世界に向けて訴え続けていかなければなりません。

そして、核兵器禁止条約発効への動きが注目されている2020年を前に開催される「原水爆禁止2019年世界大会」が、極めて重要であることを多くの人々が理解し、この大会を通じて核兵器廃絶・世界の恒久平和への思いを深めることを強く願います。

石井町におきましては、町民の皆様が核の恐怖に侵されないよう、核兵器の完全禁止に向けてあらゆる努力をしてまいりました。昭和60年7月4日には「非核平和の町」宣言を行い、平和のために貢献する決意を表明しております。今後も核兵器の恐ろしさと被爆者の苦しみを訴え続け、核兵器の禁止、そして廃絶に向けて全力を尽くしてまいります。

結びに、今大会のご成功と、皆様方の活動が子どもや孫の世代、その先の未来まで、核兵器のない安全な世界のために大きく実を結びますことを祈念いたしまして、メッセージとさせていただきます。

令和元年 6月 28日

石井町長 小林 智仁